

広島県中小企業団体中央会 2022年6月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

6月の出荷量は前月比31.8%増加、前年同月比19%増加となり、売上高は前月比32.1%増加、前年同月比28.3%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。新型コロナの流行がまた増えてきたように感じられ、景気の回復に水を差されるかもしれない。その結果、インバウンド客が戻ってくるのが遅れそうに思われる。

(繊維工業)

●繊維工業

山陽テクノ協同組合

人手不足、コロナ禍の影響で営業活動ができないのが問題。先月に比べて大きい変化はない。今後、為替の変動の影響をうける可能性がある。

一般財団法人広島県織物業工業会

- ・人の動きも徐々に増加しており期待感を持っていたが、第7波という言葉が出ており、この先自粛傾向になる可能性があるため、先が見えない状況が続く。
- ・コスト高の影響（特にエネルギー関係）が出つつあり、厳しい状況である。今後の見通しとして、先行き不透明感が増し、コスト高の影響と相まって、厳しくなることが予想される。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- ・令和4年5月の全国新設住宅着工戸数は67,193戸で前年同月比▲4.3%、季節調整済年率換算値では828千戸(前月比▲6.5%)となった。利用関係別では、持家は21,307戸で前年同月比▲6.9%、貸家は25,942戸で+3.5%、分譲住宅は19,595戸で▲8.5%、また木造住宅は38,427戸で対前年同月比▲6.6%であった。
- ・住宅着工動向は全体では前年同月比が15カ月ぶりに減少となった。特に持家は6カ月連続で対前年同月比減の低水準が継続している。特に木造住宅は木材価格が高値水準にあるためか、ここ半年対前年同月比はプラス～横這いだったものが4月以降減少に転じており、今後の動向を注視していく必要がある。

【県内】

- ・県内の今年5月の着工戸数は1,509戸で、対前年同比+7.0%、うち持家は335戸で▲10.4%、貸家は688戸で+21.3%、分譲は449戸で▲4.1%であった。県全体の住宅着工動向前年同月比は3月に減少したものの2カ月連続の増加に戻ったが、地域別では14市のうち、広島市は前年同月比を+38.1%とプラスを維持した一方で、呉市、東広島市、尾道市、福山市など8市はマイナスという結果になった。
- ・ウッドショックによる木材価格の高止まり、建築資材高騰等で住宅の建築価格が上昇し、新規受注減が危惧されている中プレカット工場は新規見積もりが減少傾向にある。円安傾向の影響が懸念されることも加え、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

福山木材協同組合

売上は上昇したが、工場稼働率はあまり良くない。

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

ようやく、様々な会合やイベントのリアル開催が再開し始めている。材料費の高騰を含め出来る対策をコツコツと行っていく。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はなし。向こう3ヶ月にかけても、注文量の回復は自動車産業を中心に見込めない模様。現状は、間接人員にも休業要請をしている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・原材料（特に金属材料）の大幅な値上げが打ち出され、製品価格への転嫁の難しさに苦慮している。
- ・円安傾向に拍車が掛かっており、自国通貨の価値低下も懸念事項である。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和4年6月 2,839m³ (暫定) (対前年比107.6%)

令和4年5月 2,446m³

令和3年6月 2,638m³

・令和4年度想定数量 800,000m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

- ・主要取引先であるコベルコ建機(株)国内の操業状況は基本高位安定。協力会社は、ここ数年フル操業が続いており、残業時間の制限、慢性的な人手不足で厳しい状況が続いている。
- ・コベルコ建機の操業は原材料、部品調達がタイトで、半完成期増、生産計画が日替わりで変動しており、協力会社もそれに追従する事を余儀なくされている。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

出荷時期の変更や、一部の部材不足により製品が完成せず出荷が出来ない事が要因となり、売上は前月比20%増加、前年同月比15%減少となった。また、工作機械の受注額は好調をキープしているものも、部材の調達難による納期の長期化の改善は一向に見られない。

リョービ関連工業協同組合

業界の景況感や今後の見通しとしてはやや悪いまま、横ばいの状況である。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比40%増加、前年同月比15%減少。工作機械の順調な回復基調が要因で、徐々に増収に向かっていくが、依然として部材の調達難や価格の高騰は続いている。しかし、今後は海外需要の回復が期待できるため、受注の増加は見込めると考える。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。中国上のロックダウンが解除され部品供給は回復、6月のマツダの生産は回復し7月からは残業・休出が計画され、コロナ前の水準に戻りつつある。しかしながら、未だ半導体の供給能力不足は続いており、予断は許されない状況にある。そのような中、新型の大型SUV CX60の評価は高く、今後の生産増に期待。

【6月度 自動車 国内販売動向】

全需は328千台、前年同月比▲10.3%と12ヶ月連続での前年割れ(登録車は▲15.8%と10ヶ月連続で前年比減、軽自動車は▲0.4%と13ヶ月連続で前年比減)。一方で、マツダ車は+21.4%と盛り返すことが出来た(内訳:登録車+29.5%(9.3千台)、軽自動車▲2.8%(2.3千台))

【5月度 自動車 海外販売動向】

アメリカの全需は1,114千台で、前年同月比▲29.8%と10ヶ月連続で減少。マツダは▲63.7%と、前年同月を2ヶ月連続で下回る結果となった。

欧州の全需は1,120千台で、前年同月比▲11.3%と11ヶ月連続で前年を下回る。マツダは▲47.0%と前年同月を4ヶ月連続で下回った。

中国の全需は1,957千台で、前年同月比▲8.0%とまた4ヶ月連続で下回る。マツダは同▲43.8%と14ヶ月連続で前年割れとなった。

全体としては、引き続き半導体不足の影響や部品供給難で、マツダの5月の海外販売は、殆どの地域で減少。前年同月比▲43.2%と10ヶ月連続で前年比減となった。

【5月度 自動車 輸出動向】

マツダの輸出台数は、前年比52.7%と5ヶ月連続で減少。

【5月度 自動車 生産動向】

マツダの国内生産台数は、前年同月比16.2%とコロナの影響での部品の供給難により、前年比でマイナス。6月以降は新型車を含め回復傾向にある。

●輸送用機械器具（造船）
（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

中国地区造船協議会

県内、2500 総トン以上の令和 4 年 5 月の船舶建造許可実績は 3 隻、142,190 総トンであった。（前月 4 隻 87,350 総トン。前年同月 1 隻、30,000 総トン。）なお、内訳は輸出船が 3 隻で貨物船であった。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

- ・国内での仕入・販売を行う卸売業者は製造業に比べ、円安や物価高・コスト増加の影響は限定的であるが、輸送費上昇をカバーする売価設定には至っていない。
- ・業界を通じて、従業員に対する賃上げについて顕著な動きは見られない。
- ・また、資材卸売業者では取扱商品のカスタムメイドやアフターサービス体制強化など川上から川下まで事業拡大を検討する動きが見られ始めている。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

4 月以降、コロナ規制緩和の影響か、得意先の食品製造業者の生産がやや増加している。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

現時点でも商品供給不足が継続しており苦戦している状況の中、受注残が多いため商品供給不足はまだ当分続きそうである。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

メーカーから値上げ要請あるなど、厳しい状況が続いている。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

- ・今年は、梅雨明けが早く雨が少ない事による、い草の刈り取り前の成長への影響が心配である。
- ・びんごでは 7 月上旬から刈り取りシーズンとなっており、新草の畳表が市場に出るのが待ち遠しい。
- ・販売実績は、ほぼ横ばいで前年対比 101.8%と推移している。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・コロナの感染状況が落ち着いており、青果・水産とも取扱高は前年実績をクリアするも、コロナ前 2019 年と比較すると約 9 割の水準にとどまる。
- ・コロナの感染状況が落ち着きつつある中で、コロナによる生活様式の変化が影響し、飲食店向け需要の回復が鈍い。2019 年の水準には戻っておらず納入業者も厳しい状況にある。
- ・賃金上昇が乏しいなか、円安・国際物流の停滞等による原材料費高騰が食品値上げに拍車をかかっている。
- ・食料品小売業者は消費意欲の冷え込みから店頭価格の引き上げに慎重になり、食品値上げ分を価格転嫁できず、慢性的な人手不足のなか賃上げも難しく、経営環境の厳しさが続いている。

協同組合三次ショッピングセンター

仮店舗営業につき前年より売上は下がっているが、直近の売上に大きな変化はない。地域では感染防止対策が続く、イベントやお祭り等はまだ再開されず特に週末は街が静かな状況が続いている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和 4 年 6 月度販売実績 90%（前年同月比）

AV 商品 86%、白物商品 96%薄型テレビ 83%（内有機 EL68%）、DVD80%、冷蔵庫 98%、洗濯機 62%、IH キッチンヒーター 119%、エコキュート 131%、エアコン 85%、炊飯器 107%、電子レンジ 76%、掃除機 188%

上記にもあるように、コロナは落ち着いており日常生活は徐々に戻りつつある。発注済商品が少しずつ入荷し始めるが、依然品不足は続いている。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

暑い日が続いているせいか、燃料の需要が増えている模様。原油価格の値動きは大きく、先が見通せない状況が続いている。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

呉市の感染者数については、6月に入って徐々に減少傾向にある。そのため、2年間開催を取りやめてきた商店街主催の行事の開催が決定した。また、国道より1区画入った本通二丁目の空き地（旧倉庫跡地）に、マンション（355㎡の土地に14階建ての建物、住戸数は65戸、7月からの着工予定）建設の準備が進んでおり、地域の活性化に期待できる。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比21.2%増加、前年比0.9%減少。
- ・車検場収入は、前月比20.5%増加、前年比0.9%減少。
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比7.1%増加、前年比2.4%減少。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

社会情勢の悪化に伴い、様々な資材が値上げされ、受注減少が懸念される。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

受注引き合いは好調だが、電子部品の入手困難な状況が続く。さらに円安とインフレで部品高騰が利益にかなり響いてきている。

●警備業

広島県警備業協同組合

全体的に仕事量が減っている感覚がある。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計では6月は23.1%減少、前年同月比12.7%減少。原材料の高騰、物件の少なさから、暫くは低調な状態が続くと想定。

福山地区電気工事業協同組合

- ・6月分の受注件数は、375件（前年同月比126%）となった。
- ・コロナやウクライナ情勢等の影響によって物流が停滞しており、部材の入荷が遅れるなどの問題が生じている。

（運輸業）

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・6月の売上高は前月比減少、前年同月比増加。
- ・自動車関連は前月よりは好調であった。しかし、世界的な半導体不足が収束せず、また、中国上海市のロックダウン解除後は部品の購入が正常化しつつあるが、完全に回復したとは言えず、物流はいまだ混乱状態にある。
- ・軽油価格は、国からの補助金ではカバーできないほどに原油価格が高騰したことで、値上げとなった。
- ・中小運送会社の経営は現状きわめて厳しい状況である。

松永地区トラック事業協同組合

- ・6月の売上高は対前年同月比では減少、対前月比では変化はなかった。全体的に荷動きが良くない。
- ・特に関東、中部、関西方面からの返路貨物が少ない上に、運賃は安価の状態が続いているため、空運での回送が増えている。
- ・食品や生活関連商品は順調に流通しているようであるが、半導体を必要とする部品等は滞っている。
- ・軽油価格は一時期下がりかけていたが、再度上昇し高止まりしており、今後の先行きが全く見えない。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

（その他）

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・6月から7月にかけて地価調査業務の公的評価作業がある分一般鑑定業務がやや減少する。
- ・流川・薬研堀歓楽街の飲食店業界は、蔓延防止解除後も客足はいま一つで依然厳しい業況が続く。
- ・不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続く。
- ・建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延により、完成工事の遅れが出ている。